

# 学生表彰式

努力を重ねた学生たちが  
栄えある賞に輝きました。

2月24日、星が丘キャンパス25A教室にて2025年度学生表彰式が挙行されました。優れた学修成果をおさめた1つの団体、課外活動において優れた成績をあげた個人5人と1つの団体、社会活動において顕著な活躍をした1つの団体に奨励賞が贈られました。五島幸一学長から表彰状が手渡され、参列した教職員からあたたかな拍手が送られました。五島学長は「今日の表彰は今の自分を振り返るきっかけとなり、今後また大きく成長する力になるでしょう。周囲の人に良い刺激を与えると共に、ますます成長し、羽ばたいていくことを祈っています」とお祝いの言葉を述べられ、力強く激励しました。



※学年は2025年度のものです。

## 奨励賞

|      |    |   |  |
|------|----|---|--|
| 学業   | 団体 | 創造表現学部 創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻<br>諸江ゼミ<br>4年 井上 凧沙さん、岡山 莉呼さん、木野村 綾音さん、細江 杏里さん<br>3年 上田 彩月さん、棚橋 美咲さん、松澤 凜さん  | 2025年度日本建築学会設計競技 タジマ奨励賞  |
|      | 個人 | 心理学部<br>心理学科<br>4年 加藤 美羽さん  | 第73回東海学生バドミントン選手権大会 女子シングルの部 優勝<br>第73回東海学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 準優勝                  |
| 課外活動 | 個人 | ビジネス学部 ビジネス学科<br>現代ビジネス専攻<br>4年 杉原 颯姫さん   | 第73回東海学生バドミントン選手権大会<br>女子ダブルスの部 優勝   |
|      | 個人 | 健康医療科学部<br>健康栄養学科<br>4年 毛利 葉奈さん   | 第73回東海学生バドミントン選手権大会<br>女子ダブルスの部 優勝   |
|      | 個人 | 人間情報学部 人間情報学科<br>データサイエンス専攻<br>3年 岡本 萌さん  | 第73回東海学生バドミントン選手権大会<br>女子ダブルスの部 準優勝  |
|      | 個人 | 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科<br>スポーツ・健康科学専攻<br>2年 山脇 杏梨さん  | 第73回東海学生バドミントン選手権大会<br>女子シングルの部 準優勝  |
|      | 団体 | バドミントン部   | 第141回東海大学バドミントン選手権大会<br>女子団体1部 優勝  |
| 社会活動 | 団体 | CCC学生団体<br>「しゅくぐる」<br>障がいのある子どもたちへの継続的な支援活動が高く評価され、ソフトバンク(株)が主催する社会貢献プログラム産学連携プロジェクト「第2回シナジーミーティング」において、産学連携に参加する80校を超える大学・高専の中から発表団体7校の一つとして選出され、ソフトバンク本社で成果を発表した。 |  |

# 表彰学生・団体PICK UP ※学年は2025年度のものです。



## 奨励賞／学業 団体

諸江ゼミ 代表  
創造表現学部 創造表現学科  
建築・インテリアデザイン専攻 4年

井上 風沙さん

名古屋市内の団地を題材に、減築と増築を織り交ぜた再構築や資源の再利用を提案。これからの時代に即した解築学について考察を深め、新たな視点で設計し、栄えある賞をいただきました。チームで学外コンペに挑み、協働の大切さを学んだ経験を、卒業後、住宅設計の仕事に活かしたいと思います。



## 奨励賞／社会活動 団体

CCC学生団体「しゅぐる」代表  
福祉貢献学部 福祉貢献学科  
社会福祉専攻 3年

石川 佳暖さん

「しゅぐる」はNPOと協働し、発達障がいのある子どもたちとの交流やイベント企画などに取り組んでいます。今年度は企業とも連携してICTを活用したオンライン音楽会を開催。子どもたちが自分らしく輝けるようサポートしながら、「違いを共に生きる」ための学びを深め続けたいと思います。



## 奨励賞／課外活動 個人

心理学部  
心理学科 4年

加藤 美羽さん

小学生の頃からバドミントンに熱中して16年。大学最後の年に優勝でき、学内でも評価をいただき、心から嬉しく感じています。家族や部の仲間など応援してくれる人の気持ちに伝えたいという思いが、頑張り続ける力になりました。目標に向かって努力を重ねていく姿勢を今後も大切にします。



## 奨励賞／課外活動 個人

ビジネス学部 ビジネス学科  
現代ビジネス専攻 4年

杉原 颯姫さん

愛知淑徳大学バドミントン部は強豪として知られているため、強い学生が集まってきます。互いに刺激合って練習に打ち込むと共に、皆でバドミントンを心から楽しみ、人として成長できました。キャプテンを務めてリーダーシップも学び、そうした数々の経験が卒業後も役立つと感じています。



## 奨励賞／課外活動 個人

健康医療科学部  
健康栄養学科 4年

毛利 葉奈さん

継続する力、あきらめない心、辛くても乗り越える強さ。その一つひとつをバドミントンを通して培うことができました。部活と両立し、管理栄養士という目標に向かって学業にも全力を注ぎ、充実した4年間だったと感じます。大学から栄えある賞もいただき、今後の励みになると感謝しています。

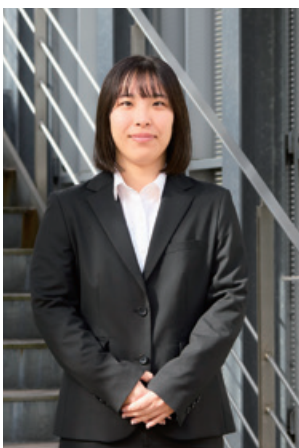


## 奨励賞／課外活動 個人

人間情報学部 人間情報学科  
データサイエンス専攻 3年

岡本 萌さん

幼い頃からバドミントンを続けてきた私は、勝敗より楽しさに重きを置いてきました。それが大学で数々の大会を経験し、「やるからには勝ちたい」と意識が変化。今年度、確かな成績も取れ、来年度の大会へのモチベーションも高まっています。部の仲間と力を合わせ、新たな目標の達成に挑みます。



## 奨励賞／課外活動 個人

健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科  
スポーツ・健康科学専攻 2年

山脇 杏梨さん

バドミントンを小学生のときから続けてきて、大学生になって初めて全国大会という大舞台に立ちました。もっと強くなりたいという思いが増し、自主練にも力を入れています。キャプテンとしても、部全体がさらにレベルアップし、部員一人ひとりが楽しみながら成長できるように努めています。



## 奨励賞／課外活動 団体

バドミントン部 代表  
心理学部 心理学科 4年

加藤 美羽さん

インカレ出場を目標に一丸となって練習に励む姿勢がバドミントン部の伝統です。志が高いからこそ時に衝突することもあります。学部・学年関係なく仲が良く、互いに切磋琢磨合ってバドミントンを楽しんでいます。今後も向上心を持ち、大会で力を発揮できるように後輩たちに期待しています。